

平成 26 年度 事業報告

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

事業概要

博物館事業としては、三重県民の森指定管理業務やございしょ自然学校の管理運営、第 25 回全国トンボ市民サミット実行委員会事務局、三重しぜん文化祭 in みえむ運営事務局を行った。また、カモシカセンターを継承する施設を湯の山温泉街に、カモシカ資料館として開設 取り組むとともに、自然環境やカモシカに関する資料の収集・整理及び調査・研究を行った。

まちづくり事業としては、近鉄湯の山温泉駅構内にある観光情報ステーション 0 番線の運営や、菰野町商工会・菰野町観光協会・湯の山温泉協会・菰野町スポーツ文化振興会の企画する自然系イベントへ講師の派遣を行った。

本年度の実施事業内容は下記の通り。

① 博物館事業部

1. 三重県民の森

三重県民の森指定管理者として、管理運営に取り組んだ。

誰もが日常から気持ちよく来園できるよう、植物管理、施設管理をはじめとした園内管理を徹底するとともに、「三重県民の森」の持つ自然環境を最大限に活用したイベントを実施することにより、公園の PR 並びに来園者の増加に努めた。

2. ございしょ自然学校

ございしょ自然学校の運営を御在所ロープウェイ株式会社から委託を受け、管理運営に取り組んだ。

専従担当職員を配置し、各種イベントの実施や展示物を通し来訪者へ御在所岳の自然の魅力を発信した。また、まちづくり事業部の観光情報ステーション 0 番線と連携させることで、より広域な展開に取り組んだ。

3. 調査研究室

カモシカ資料館

カモシカセンターを継承したカモシカ資料館を のための準備として、前年度より

引き続き、資料の収集・整理、情報交換を行った。また、ニホンカモシカに関する問い合わせに対し、それぞれ対応した。

第 25 回全国トンボ市民サミット

毎年、全国各地で開催されてきた全国トンボ市民サミットを御在所岳で開催した。これに伴う実行委員会を設置し、その事務局運営を行った。また、大会冊子等の制作を行った。

三重しぜん文化祭 in みえむ

津市内に新設された三重県総合博物館（MieMu）で開催した三重しぜん文化祭において、実行委員事務局として参画するとともに、チラシ・ポスター・ウェブのデザイン作成を行った。また、出展団体としてブース展示を行った。

三重県博物館協会

前年度より引き続き、三重県博物館協会に加盟し情報交換を行うとともに、博物館活動への協力を行った。

② まちづくり事業部

1. 観光情報ステーション0番線

平成 22 年に開設し、近鉄湯の山温泉駅構内にある菰野町の自然資源をはじめとした、さまざまな情報を発信するための観光情報ステーション0番線の運営を行っている。

ホームページによる情報発信の深化とユーザビリティの向上を行い、より多くのユーザーに対し情報提供を行った。また、フェイスブックを活用した観光情報発信に取り組んだ。前年度に引き続き、湯の山温泉・御在所岳を中心とした情報ペーパー 番くん通信を毎週発行し、菰野町の魅力を発信した。また、菰野町庁舎や図書館などの施設にも番くん通信を配布することで、地元に対して魅力に気付いてもらうアプローチを行った。

近鉄湯の山温泉駅の観光案内所

これまで菰野町から緊急雇用対策による委託を受け運営してきたが、今年度は自己資金により運営することとなった。そのため、オープンする時間を大幅に削減せざるを得なくなり、来訪者へ対する観光案内サービスの低下が懸念されている。また、これまでの利用者から、案内業務の充実を求める声が寄せられている。

カモシカ商店

ネットショップを通じた地域情報発信を可能にするプラットフォームとして、3月末よりカモシカ商店をオープンし、菰野町の商品・土産物をインターネット上で販売を開始した。菰野町内の非営利活動への寄付にも取り組んでいる。また、カモシカのお札・Tシャツ・自然関連グッズの販売を通して、自然とのふれあいに関する啓発を行った。

涙橋ギャラリー

湯の山温泉街活性化のため、湯の山温泉協会向かいにあった倉庫のリノベーションを行い、涙橋ギャラリーとしてオープンさせ、さまざまな個人・団体が定期的に出展を行った。

2. 地域計画室

湯の山温泉協会

前年度より引き続き、湯の山温泉協会に加盟し、自然資源に関するさまざまな情報提供を行うとともに、地域内の情報収集を行った。また、6月には赤川自然に親しむ会協力の下、ホテル鑑賞ツアーを実施した。

鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン

菰野町で開催した第9回鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンの実行委員として参画し、大会運営に協力した。

菰野ヒルクライムチャレ in 鈴鹿スカイライン

鈴鹿スカイラインで開催した第3回菰野ヒルクライムチャレンジ in 鈴鹿スカイラインの実行委員として参画し、大会運営に協力した。

事業の実施に関する事項
(特定非営利活動に関わる事業)

事業名	事業内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範 囲または人数	支出額 (千円)
博物館事業	三重県民の森	通年	三重県内	12人	日本国内	20,850
	ございしょ自然学校	通年	菰野町内	8人	日本国内	2,952
	調査研究室	通年	三重県内	10人	日本国内外	5,297
	桑名市自然調査事業	通年	桑名市内	2人	桑名市内	4
	イオン環境事業	通年	菰野町内	2人	日本国内	227
まちづくり 事業	観光情報ステーション0番線	通年	菰野町内	9人	日本国内外	5,677
	地域計画室	通年	菰野町内	6人	日本国内	116